

取扱説明書 保証書

適応体重：9kg～18kg
年齢の目安：1歳頃～4歳頃まで
適合基準：ECE R44/04

VIAGGIO 1 **DUO
FIX** K



Peg-Pérego

201806

目次

必ずお読みください	3
ユーザー登録のお願い	3
チャイルドシートについて	3
自動車との適合について	4
表記の説明	4
本取扱説明書で使用するイラストについて	4
その他の表記について	4
重要事項の説明	5
3点式シートベルトでの取り付け時	5
ISO-FIX ベースシートでの取り付け時	5
使用可能なお子さまの範囲	5
取り付け、使用できない座席	6
取り付け可能な座席位置	7
シートベルトの種類について	8
内容物の確認	9
各部の名称	10
本製品の各部の名称	10
自動車に関わる部位、部品の名称	11
使用上の注意	12
本製品使用上の重要な事項	15
自動車の座席について	15

緊急時の操作について	16
取扱説明書ホルダー	16
基本機能の説明	16
バックルの使いかた	16
ハーネスの調節のしかた	17
リクライニングの使いかた	20
ブースタークッションの使いかた	20
3点式シートベルトによる取り付け	21
ISO-FIX ベースシートによる取り付け	25
お子さまの乗せかた	28
お手入れのしかた	31
カバー類の取り外し	31
カバー類のお手入れ	33
カバー類の取り付け	34
メンテナンス	38
保管のしかた	39
廃棄に関して	39
シリアルナンバー	39
認証ラベルについて(参考)	40
保証書	

必ずお読みください

本製品は、自動車の座席に取り付けてチャイルドシートとしてご使用いただくことができます。

本製品は、欧州基準に適合するチャイルドシートですが、使用方法を誤ると、所定の安全性能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方や保護者の方の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

安全に本製品をご使用いただくため、あらかじめ本取扱説明書を熟読し、内容を十分にご理解した上で本製品をご使用ください。

本取扱説明書は、本製品の所定の場所に格納して大切に保管し、必要ときにいつでも取り出して参照できるようにしておいてください。

ユーザー登録のお願い

チャイルドシートをご使用いただくにあたって、国土交通省推奨によるユーザー登録へのご協力をお願いいたしております。本製品は、日本国内で使用を認められている欧州のチャイルドシート基準である ECE 基準に適合しております。本製品は、当該基準に適合するよう万全の注意をもって製造されていますが、万が一基準に適合しない製品が発生し、かつその製品が出荷されてしまった場合、直ちにその製品を入手されたお客様にご連絡を差し上げ、対象となった製品を修理する必要があります。このような場合に、迅速にお客様に情報をお伝えし適切に対応できるよう、お客様にはユーザー登録をお願いいたしております。

お預かりしたお客様の個人情報、弊社が管理し、お客様の承諾を得ない限り、この緊急の連絡の目的にのみ利用させていただきます。

チャイルドシートについて

チャイルドシートは、万が一の交通事故の際や自動車の急制動（急発進・急停止・急なハンドル操作など）によって生じる、お子さまへの負担や衝撃を軽減することを目的としており、お子さまを交通事故や急制動により生じる負担や衝撃から無傷で守る事を保証する製品ではありません。

また、チャイルドシートが正しく取り付けられていなかったり、お子さまがチャイルドシートに正しく固定されていないと、お子さまの体重や体格に適さない状態でチャイルドシートを使用したりすると、交通事故や急制動時に本製品が所定の性能を発揮できないばかりか、本製品が動くなどして、お子さまの安全のみならず、他の同乗者の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

本製品を使用するにあたっては、本取扱説明書の記載内容および本製品本体の表記に従って、常に正しくご使用ください。

また、どれほど短い距離、どれほど短時間のドライブであろうとも、本製品を常に正しくご使用いただくとともに、慎重で安全な運転を心がけるようにしてください。

自動車との適合について

本製品は、自動車の座席の3点式シートベルトによって自動車の座席に固定して使用します。

ただし、3点式シートベルトが装備された座席でも、条件によっては使用できない場合があります。

または、本製品が対応するISO-FIXベースシートを自動車の座席に取り付け、ベースシートに本製品を取り付けて使用することもできます。

本製品が取り付けられる自動車の座席（または、本製品が対応するベースシートが取り付けられる座席）に関しては、以下のホームページに記載の適合車種一覧をご確認いただくか、本取扱説明書末尾に記載の弊社お客様サービスまでお問い合わせください。

なお、適合車種一覧は適宜更新しております。

<http://www.katoji.co.jp/>

表記の説明

本取扱説明書では、本製品を使用するにあたって特にご注意・留意いただく事項を「危険」「警告」「注意」に区分し、強調して表記しております。この表記に付随して記載されている内容を無視すると、本製品をご使用になるお子さまや保護者の方、また、周りにいる方や物品に損害をおよぼすおそれがありますので、必ずこれらの内容を十分に理解した上でご使用ください。

 **危険** この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

 **警告** この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至ることがあり得ることを示します。

 **注意** この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

 この表示に付随して記載されている事柄は正しい状態にあることを示します。

 この印に付随して記載されている事柄は、誤った状態にあること、または禁止されている状態にあることを示します。

本取扱説明書で使用するイラストについて

本取扱説明書で使用しているイラストは、より理解しやすくするために、大きさの比率の変更、強調、誇張等をおこなっており、実際とは異なる部分があります。あらかじめご了承ください。

その他の表記について

 「ポイント」と表記された枠に記載されている事項は、本製品をご使用いただくにあたって知っておいていただきたいこと、また、本製品をより便利に使用していただくための大切な情報です。

重要事項の説明

本製品は、自動車の座席の3点式シートベルトまたは、本製品に対応するISO-FIX ベースシートに取り付けて、それぞれ以下の通りの条件で使用することができます。

3点式シートベルトでの取り付け時

- ・本製品は「グループ1 ユニバーサルカテゴリ」のチャイルドシートとして使用することができます。
- ・本製品はECE R44/04 基準に適合しており、体重9kg～18kg（目安年齢1歳頃から4歳頃まで）のお子さまに使用することができます。
- ・本製品は多くの車両に取り付けて使用することができますが、すべての自動車の車両、座席に取り付けて使用できるものではありません。
- ・自動車の取扱説明書のチャイルドシートの欄において「ユニバーサル」グループ1のチャイルドシートが使用可能と表記されている場合は、殆どの場合本製品を使用することができます。
- ・本製品は、認証ラベルがない旧来のモデルよりも厳しい認証基準に準拠しており「ユニバーサル」として分類されています。
- ・本製品は、ECE no.16 または、これと同等の基準に適合した3点式シートベルトでのみ取り付けすることができます。
- ・本製品を、シートベルトが装備されていない座席で使用したり、2点式シートベルト、ラップベルト、5点式シートベルトで取り付けたり、3点式シートベルトの肩ベルトや腰ベルトのみで取り付けで使用してはいけません。

ISO-FIX ベースシートでの取り付け時

- ・本製品はECE R44/04 基準に適合しており、体重9kg～18kg（目安年齢1歳頃から4歳頃まで）のお子さまに使用することができます。
- ・本製品は自動車の座席の汎用ISO-FIX 固定装置に取り付けて使用することができる当社製品の「Isofix Base 0+1」に対応しています。
- ・「Isofix Base 0+1」の取扱説明書を参照し、自動車の座席に正しく取り付けられた上で、本製品を「Isofix Base 0+1」に取り付けて使用してください。
- ・「Isofix Base 0+1」を使用すると、3点式シートベルトで固定する場合より安全性が向上します。
- ・「Isofix Base 0+1」を使用するには、自動車の座席に汎用ISO-FIX 固定装置が装備されている必要があります。
本製品の適合車種一覧において、「Isofix Base 0+1」に本製品を取り付けた状態で使用可能としている車両、座席以外では、使用しないでください。

使用可能なお子さまの範囲

本製品は、次の範囲にあてはまるお子さまにご使用いただけます。本製品の使用可能な範囲は、ECE R44/04 グループ1の規定である、**お子さまの体重を基準に使用範囲を定めています。**

使用可能なお子さまの範囲：体重9kgから18kgまで

目安として、1歳頃から4歳頃までご使用いただけます。年齢は目安ですので、使用可能なお子さまの範囲に満たない、または超えたお子さまは使用できません。



年齢が使用できる年齢の目安の範囲であっても、お子さまの体重が使用可能なお子さまの範囲にあてはまらない場合は使用してはいけません。

取り付け、使用できない座席

以下に記載する座席では絶対に取り付け、使用しないでください。

危険 以下に示す座席では絶対に使用しないでください。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

3点式シートベルト以外の座席（シートベルトでの取り付けの場合）

シートベルトが装備されていない座席はもちろん、2点式シートベルト、5点式シートベルトでは使用できません。

必ず、3点式シートベルトの装備された座席に取り付けて使用してください。



進行方向に対して前向き以外の座席

本製品は、本製品を前向きにして車の進行方向に向かって前向きの座席のみ取り付け使用することができます。車の進行方向に向かって後ろ向きや横向きの座席では使用できません。また、車の進行方向に向かって前向きでも、補助席などの特別な座席、バス、電車、飛行機、船などの座席でも使用できません。



適合車種一覧で取り付け、使用不可となっている車種または特定の座席

適合車種一覧で、取り付け、使用不可となっている車種または特定の座席（適合車種でも、全ての座席で取り付け、使用可能とは限りません）では使用できません。



以下に示す座席では絶対に使用しないでください。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

フロントエアバッグを装備している座席

フロントエアバッグが作動すると、エアバッグが展開する際の急激な衝撃によって、本製品が押し出され、お子さまが死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

万が一の事態に備え、機能解除ができる座席でも、フロントエアバッグを装備した座席では使用しないでください。

助手席

事故や衝撃を受けた際にダッシュボードにぶつかったりするほか、運転に支障をおよぼすおそれもあります。本製品は、より安全な後部座席に取り付けて使用してください。

運転席の後ろの座席への取り付けをお勧めしますが、自動車の座席の種類によっては、運転席の後ろの座席に取り付けできない場合もあります。その場合は助手席の後ろの座席に取り付けてください。

ヘッドレストに干渉する座席

自動車の座席のヘッドレストが干渉して、本製品をしっかりと取り付けできない場合は本製品を取り付けしないでください。ヘッドレストの調整、取り外しが可能な場合は、調整または取り外してヘッドレストが本製品に干渉しないようにして取り付けてください。

パッシブシートベルトの装備された座席

ドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される、パッシブシートベルトの座席では、本製品を使用できません。

本製品を安定して設置できない座席

レーシング用のパケットシートなどの極端な凸凹がある座席、幅や奥行きが極端に狭い座席、本製品を取り付けたドアやコンソールなど座席以外の構造物に本製品が接触する座席では、本製品が安定しないため取り付けできません。

また、適合車種でも限定モデルや中古車の場合には、特殊な座席が付いていたり、座席そのものが交換されているなどする場合もあります。これらの場合、本製品が安定して設置できないこともありますのでご注意ください。



以下に示す座席では絶対に使用しないでください。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

床下収納のある座席 (ISO-FIX ベースシートによる取り付けの場合)

ISO-FIX ベースシートによる取り付けの場合、ISO-FIX ベースシートのサポートレッグが干渉しますので、座席の足元に収納スペースがある座席には取り付けないでください。

乗員の脱出に影響を与える座席

片開きドアのワンボックスカーのドア側の座席など、本製品を使用することにより、他の乗員が緊急時に自動車から脱出しにくくなるおそれがある座席では使用しないでください。

実際に本製品を使用する前に、あらかじめ緊急時を想定して、取り付けようとする座席の上に本製品を置き、その状態で、すべての座席から、他の乗員が容易に乗降できるかどうか、また、緊急時にお子さまを迅速に脱出させることができるかを、あらかじめ確認してください。

本製品を使用することによって運転、操作に支障をきたす座席

本製品を使用すると、ドアミラーが見えにくくなる、サイドブレーキやシフトレバー、ハンドル、ウインカーなどの操作に影響を与え、自動車の安全な運転に支障をきたすおそれのある座席では使用できません。

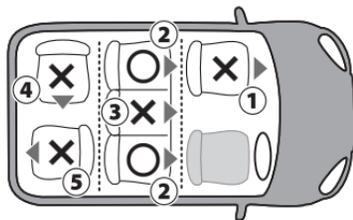
座席の可動部、ドアの開閉に干渉する座席

座席の可動部分や、ドアの開閉に干渉する座席には取り付けないでください。

その他、取り付けられない座席

本製品は、中央座席ではご使用いただけません。また、座席の形状やサイズ、シートベルトの長さ、ベルトバックルの高さや前後の位置などが影響し、本取扱説明書にしたがっても、しっかりと固定できない、安定しない座席では使用できません。

取り付け可能な座席位置



① 助手席

取り付け、使用してはいけません。

② 2 列目以降、左右ドア側座席

取り付け可能です。

③ 2 列目以降、中央座席

取り付け、使用してはいけません。

④ 進行方向に向かって横向きの座席

取り付け、使用してはいけません。

⑤ 進行方向に向かって後ろ向きの座席

取り付け、使用してはいけません。



上図に関わらず、適合車種一覧で、取り付け、使用不可となっている車種または特定の座席 (適合車種でも、全ての座席で取り付け、使用可能とは限りません。) では使用できません。

シートベルトの種類について

3点式シートベルトでの使用時、本製品はECE no.16 または、これと同等の基準に適合した3点式シートベルトでのみ取り付けすることができます。3点式シートベルトでも、種類によっては、本製品が正しく取り付けられなかったり、適切に使用できない可能性があります。次の表の説明を参考にして、使用しようとする自動車の取扱説明書を確認するか、または自動車のメーカー、お買い求めになった自動車の販売店に問い合わせるなどして、装備されている3点式シートベルトの種類を確認してください。

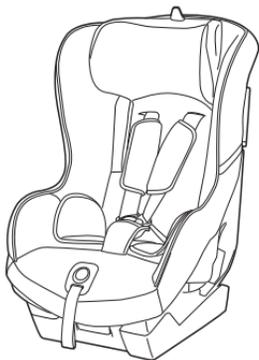
シートベルトの種類	機能・特徴	取付可否	注意点
ALR 自動ロック式ベルト巻取装置	シートベルトを引き出して途中で止めるとその位置で固定され、戻す方向にしか動かなくなる（それ以上引き出せなくなる）。最後まで戻しきると固定機能が解除される。	×	取り付けできません。
ELR 緊急ロック式ベルト巻取装置	ゆっくりとならばシートベルトを引き出すことができるが、強く引くと固定され、それ以上引き出せなくなる。	○	ゆっくりとシートベルトを引き出して本製品を取り付けてください。
NR	固定機能がなく、どの状態でもシートベルトの引き出し、戻しができる。	×	取り付けできません。
AELR チャイルドシート固定機構付 ベルト巻取装置	通常時はELRとして機能。シートベルトを最後まで引き出すと、チャイルドシート固定機構（ALR）に切り替わり、シートベルトが最後まで引き戻ると、再びELRに切り替わる。	○	シートベルトを最後まで引き出すと危険です。必ず、シートベルトを一度巻き戻してチャイルドシート固定機構（ALR）を解除して取り付けてください。
その他	パッシブシートベルト・2点式・5点式シートベルトなど。	×	取り付けできません。

⚠危険 シートベルトの種類が適合していても、他の条件により、本製品を正しく取り付け、使用できない場合があります。取り付け、使用可能な車種については、適合車種一覧をご確認ください。適合車種一覧で、取り付け、使用不可、とされている車種、座席では、絶対に取り付け、使用しないでください。

💡ポイント 中古車やディーラー限定モデルなど、特別仕様車の場合には、座席やシートベルトの種類が自動車の取扱説明書の内容と異なることがあります。確認できなかった場合には、自動車のメーカーや、自動車をお買い求めになったディーラーにお問い合わせください。

内容物の確認

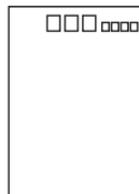
本製品には、次のものが同梱されています。すべてのものが揃っていることを確認してください。万が一、足りないもの、破損しているものがある場合、そのままご使用にはならず、大変お手数ですが、巻末に記載のお客サービスまでご連絡ください。



本体



本書

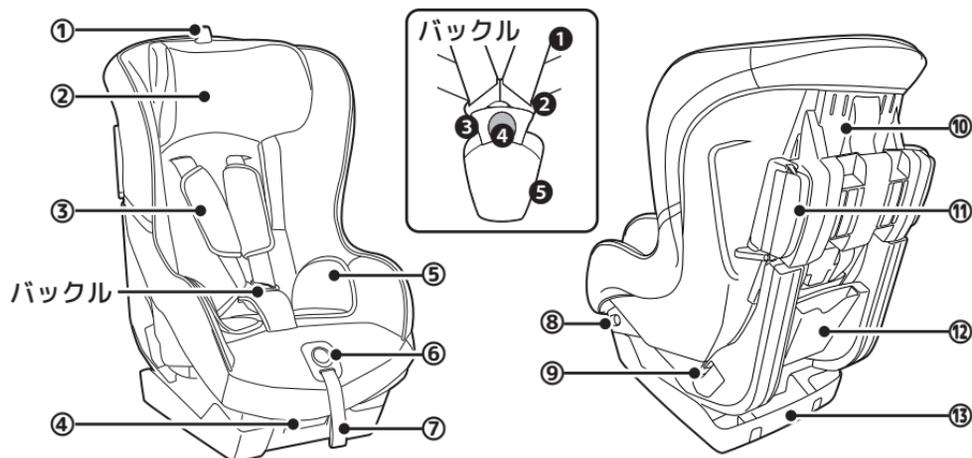


ユーザー登録はがき

注意 本製品が入っていたビニール袋等の梱包材は、本製品開梱後、直ちにお子さまの届かない場所に廃棄してください。

各部の名称

本製品の各部の名称



- ① 高さ調節レバー
- ② ヘッドレスト
- ③ 肩ベルトパッド
- ④ リクライニングレバー（座面部の奥）
- ⑤ ブースタークッション
- ⑥ アジャスターボタン
- ⑦ アジャスターベルト
- ⑧ 固定解除レバー

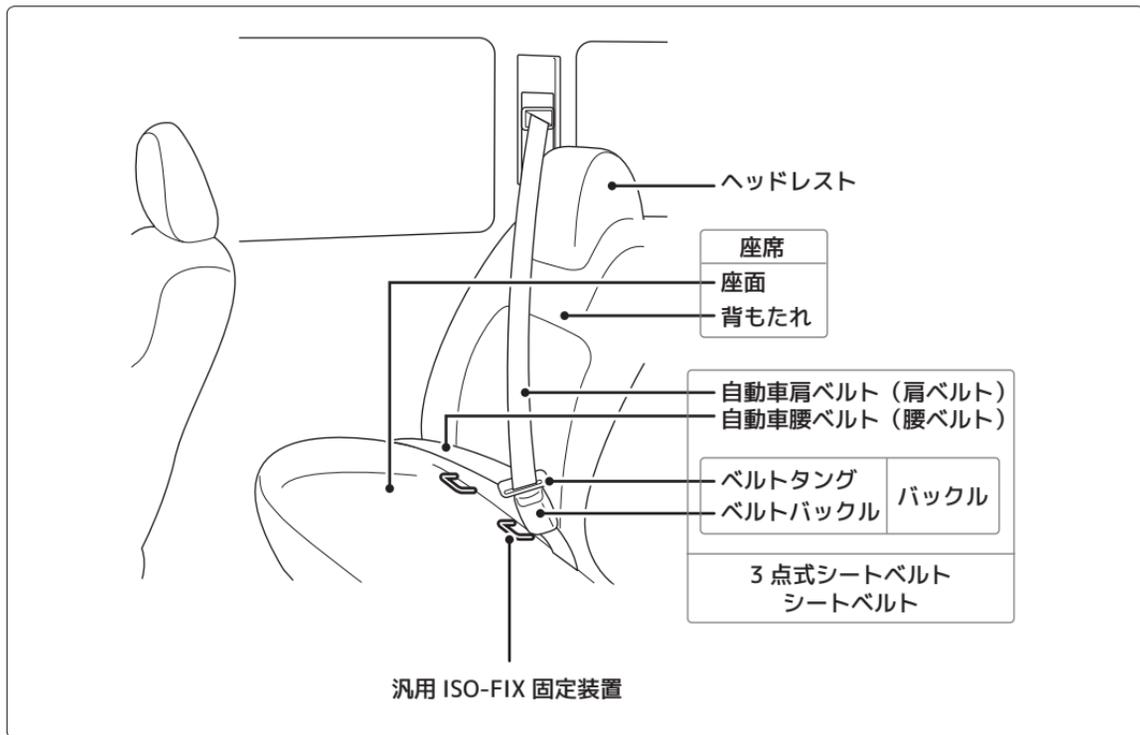
- ⑨ ベルトベース
- ⑩ シェル
- ⑪ ロックオフデバイス
- ⑫ 取扱説明書ホルダー
- ⑬ 保護ベース

バックル

- ① ハーネス
- ② 差込タンブ
- ③ 受けバックル
- ④ バックルボタン
- ⑤ 股ベルトパッド

自動車に関わる部位、部品の名称

本取扱説明書においては、本製品を取り付ける自動車の座席の部位、部品に関して言及している箇所があります。特に、シートベルトやバックルなど、自動車と本製品で同様名称の部位、部品がありますので、これらを区別するため、本取扱説明書において、自動車の部位、部品については以下の通りの名称を用います。



使用上の注意

本製品の誤った使用は、所定の機能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方にも思わぬ危険をおよぼすおそれがあります。ここでは、本製品をお使いいただくにあたって、注意していただきたい重要な事柄や、「してはならない」重要な禁止事項について説明しております。

⚠危険 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることが示されます。

自動車の進行方向に対して前向きに取り付けること

本製品は、自動車の進行方向に対して前向きの座席に、前向きにして取り付けます。後ろ向き、横向きには取り付け使用してはいけません。

正しく自動車の座席に固定して使用すること

本製品は、本取扱説明書および本製品本体に記載されている指示、手順に従って、正しく自動車の座席に固定してください。

正しく固定されていないと、本製品が所定の安全性能を発揮できず大変に危険です。

指定の方法以外で自動車の座席に固定しないこと

本取扱説明書および本製品本体に記載されている指示、手順以外の方法で本製品を固定すると、事故や急制動の際に、本製品が自動車の座席から外れるおそれがあります。

また、ひもや、帯状のもの、布、梱包用ベルト、テープなど、シートベルト以外のものでも本製品を固定してはいけません。シートベルトで固定した上に、これらのもので補強してもいけません。

3点式シートベルトまたは ISO-FIX ベースによって本製品が自動車の座席に正しく固定されていたとしても、これらのものが、お子さまの首や身体に引っかかり窒息するなど重大な事故につながるおそれがあります。

走行中はお子さまを本製品に正しく着座させて固定すること

以下に短い距離、時間の移動の場合でも、お子さまは本製品に正しく着座させて本製品のハーネスで固定するようにしてください。大人の方がお子さまを抱いた状態であっても、急ブレーキを掛けた場合など、低速での走行場合であったとしてもお子さまが前方に飛び出して重大な事故につながるおそれがあります。

⚠危険 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることが示されます。

お子さまを正しく固定して使用すること

本取扱説明書の記載に従い、正しくお子さまを固定してください。規定された体重に適さないお子さまに使用したり、肩ベルト、シートベルトを間違えて使用したり、お子さまを立たせたり、正座、中腰の体勢で使用したり、複数のお子さまを座らせたりしてはいけません。

使用条件を厳守すること

本製品は、欧州のチャイルドシート基準 (ECE R44/04) に適合するチャイルドシートです。この基準により、使用できる条件と使用方法が定められています。P5 記載の「使用可能なお子さまの範囲」の条件に満たない、または超えたお子さまは、本製品を使用してはいけません。

体型が合わなくなったら使用しないこと

お子さまの体重が本製品の使用可能な範囲内でも、本製品に正しくお子さまを乗せた際に、頭頂部が本製品から上にはみ出してしまふ場合、お子さまの足が本体から極端にはみ出してしまふようになった場合には、お子さまを正しく固定できず、お子さまが窮屈なばかりでなく、衝撃を受けた際に、お子さまが落下したり、飛び出したりするおそれがあります。

自動車の座席の本製品を固定する装置に損傷がある場合は、取り付け、使用をしないこと

3点式シートベルトによる取り付け時にシートベルト (ベルトタンク、ベルトパツクルを含む) に損傷がある場合や ISO-FIX ベースによる取り付け時に汎用 ISO-FIX 固定装置に異常がある場合には、その座席に本製品を取り付け、使用してはいけません。交通事故や急制動の際に本製品が座席から外れるおそれがあります。

⚠危険 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

走行前に本製品の状態を確認すること

走行前には、本製品が正しく自動車の座席に取り付けられているかどうか、本製品が正しい状態になっているか、必ず確認してください。お子さまや他の乗員などが、本製品に触れたり固定しているシートベルトや本製品、他の部品に触れるなどして、本製品の取り付けがゆるむなどしてしまっている可能性があります。

⚠警告 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

大人が操作、取り付け、調節すること

本製品をお子さまに操作、取り付け、調節させないでください。

お子さまを乗せたままで本製品の組み立て、取り付けをしないこと

本製品が正しく組み立て、取り付けできなくなるおそれがあります。また、これらの操作中にお子さまがケガをするおそれがあります。

本製品の機構部に手指を差し入れないこと

ケガをする恐れがありますので、本製品の稼働部分、機構部分に不用意に指を入れないでください。

3点式シートベルトによる取り付け時にはシートベルトの状態に注意すること

シートベルトがゆるんだ状態やねじれた状態で使用してはいけません。事故や急制動の際にお子さまに過剰な衝撃が加わったり、本製品が自動車の座席から外れるおそれがあります。

また、過去に事故にあつたり大きな衝撃を受けた座席の場合、シートベルトが正しく機能しなくなっている可能性があります。このような場合には、シートベルトが正常に機能しているかどうかを自動車の整備工場などで確認するようにしてください。

ハーネスの状態に注意すること

本製品のハーネスがゆるんだ状態やねじれた状態で使用してはいけません。事故や急制動の際にお子さまに過剰な衝撃が加わったり、お子さまが本製品から飛び出したりするおそれがあります。

ハーネスは、本取扱説明書の指示に従い正しい高さに調整し、正しい強さで締め付けるようにしてください。

⚠警告 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

適宜、お子さまの状態を確認すること

お子さまがバックルを外していたり、ハーネスから腕や脚を抜いたりしていないか適宜確認するようにしてください。お子さまが寝ている場合でも常にお子さまの様子を確認するようにしてください。

不適切な着衣では使用しないこと

お子さまを正しく固定できず、お子さまが本製品から落下したり、飛び出したりするおそれがありますので、厚みのあるダウンジャケットなどの厚着や、ケープ、毛布など衣服ではないもの、また、おくるみなど、両足が出ない（股ベルトを両足で挟めない）構造の着衣で本製品を使用しないでください。また、毛布や座布団などの敷物を本製品の座席に敷かないでください。

本製品の下にクッションや敷物などを敷かないこと

座布団やクッションなどの敷物を置いた自動車の座席の上に本製品を取り付けてはけません。本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。

本製品を正しく取り付けた際に、自動車の座席にくぼみや傷が生じる可能性があります。あらかじめご了承ください。

ISO-FIX ベースシートは確実に取り付け使用すること

本製品は、「Isofix Base 0+」など本製品に対応する ISO-FIX ベースシートを自動車の座席に取り付けた上で、その ISO-FIX ベースシートに本製品を取り付けて使用することができます。

本製品が脱落し、重大な事故につながるおそれがありますので、本取扱説明書および ISO-FIX ベースシートの取扱説明書の指示に従い、それぞれを正しく、確実に取り付け使用してください。

また、本製品は、当社が指定するベースシート以外には取り付けられません。無理に取り付けようとすると、本製品が破損したり本製品が使用中に脱落したりするおそれがあります。

車内では本製品を必ず座席に固定しておくこと

お子さまが使用しない場合でも、自動車に本製品を乗せる際には、本製品を自動車の座席に固定してください。正しく固定されていないと、交通事故や急制動の際に本製品が移動し、他の同乗者にあたるなどして、死亡または重傷を負うおそれがあります。

警告 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

お子さまを車内に放置しないこと

いかなる場合でも、お子さまが寝ているからといってお子さまを自動車の中に放置してはいけません。たとえわずかな時間でも、日差しにより自動車内の温度が高くなり、熱中症・脱水症状になるおそれがあります。また、日差しのない時でも、本製品から抜け出ようとして、ハーネスに絡まり窒息したり、誤って自動車の操作をしたりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

本製品のシートカバーを取り外して使用しないこと

シートカバーは本製品を構成する重要な部品です。シートカバーを取り外した状態で使用すると本製品が安全に機能しません。また、同様に当社が指定するシートカバー以外のものと交換して使用してはいけません。

肩ベルトパッドを取り外して使用しないこと

肩ベルトパッドを取り外した状態では本製品が安全に機能しません。必ず取り付けて使用してください。

本製品の部品、ラベルやシールを取り外して使用しないこと

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本取扱説明書で別段の指示がない限り、本製品の部品を取り外して使用しないでください。ポリスチレン、衝撃吸収材も安全に関わる重要な部品ですので、決して取り外して使用しないでください。また、同様に、本体に貼られているラベルやシールも安全基準に関わる重要な部品ですので、決してがさないでください。

本製品の分解、改造をしないこと、および指定外部品を使用しないこと

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本製品の分解、改造をしないでください。また指定外部品への交換、本製品に同梱されていないアクセサリや部品を本製品に取り付けて使用しないでください。

強い衝撃を受けた本製品/損傷した本製品は使用しないこと

落下したり、車のドアで強くはさまむ、交通事故にあったなど、一度でも強い衝撃を受けた本製品は使用してはいけません。目には見えない損傷によっても、本製品が安全に機能しない可能性があります。

警告 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

中古品や劣化した本製品を使用しないこと

本製品の中古品は、過去の履歴や保管状況、使用状況が不明なため、使用してはいけません。

製造から7年を経過した本製品を使用しないこと

部品の経年劣化の影響などにより、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、製造日から7年を経過した本製品は使用しないでください。

目的外で本製品を使用しないこと

本製品は、チャイルドシートとしてのみ使用することができます。室内用の椅子、ベッドなどの目的で使用してはいけません。また、本製品はお子さまの長時間の睡眠には適していません。

本製品に過度の負担を掛けないこと

本製品に損傷を与えるおそれがありますので、本製品に重いものを載せたり、自動車のドアや座席のリクライニングで強くはさむなどしたりしないでください。本製品が損傷した場合、本製品を使用してはいけません。また、過度の負担が掛かると、本製品の取り付けがゆるんでしまう可能性もあります。

本製品を取り付けた後に、自動車の座席のリクライニング操作、座席の移動をした場合には状態を確認すること

本製品を、3点式シートベルトで取り付けた後に、取り付けた自動車の座席のリクライニング操作、また、座席の位置を前後に移動させる操作をすると、取り付けがゆるむ可能性があります。これらの操作をした後は、必ず取り付け状態を確認してください。

不適切な保管をしないこと

部品の劣化が早まったり、正常に機能しなくなるおそれがありますので、風雨にさらされる露天、直射日光のあたる場所、極端に暑くなる場所、湿気の多い場所、ホコリの多い場所などで保管しないでください。また、このような状態でも長期間保管した本製品を使用してはいけません。

走行中に本製品の操作をしないこと

走行中にお子さまの乗せ降ろしはもちろぬ、本製品の取り外し、調節を行わないでください。安全な場所に停車させた上で、これらの操作をしてください。



以下に記載されている事項を守らないと、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえる可能性があります。

部品の過熱に注意すること

ヤケドを負うおそれがありますので、本製品の金属部品や樹脂部品が日光により過度に加熱していないか確認してから、お子さまを乗せてください。また、本製品を操作する方も、温度を確認してから操作するようにしてください。野外に駐車する際には、直射日光を選いた上で本製品に覆いをするなどして加熱を防ぐようにしてください。

使用前に確認すること

本製品の一部の部品は、お子さまの敏感な肌を害をおよぼすことがあります。お子さまを座席に置く前に確認してください。敏感な肌のお子さまの場合は、直接肌が触れないよう、着衣で調整してください。

車内の動くものは固定しておくこと

交通事故や急制動の際に、本製品を使用しているお子さまのみならず、他の同乗者にあたるなどしてケガを負うおそれがありますので、自動車内にある移動する物品は適切に固定するようにしてください。

適切にお手入れすること

本製品が安全に機能しなくなるおそれがありますので、本製品のお手入れは、本取扱説明書の指示に従って正しくおこなうようにしてください。

長時間連続して使用しないこと

お子さまを長時間にわたり同じ姿勢で固定すると、お子さまにストレス、疲労をあたえる可能性があります。より快適にご使用いただくため、適宜自動車を安全な場所に駐車し、お子さまを本製品から降ろして、お子さまが自由に動けるようにしてあげてください。運転の安全のためにもなりますので、適宜休憩をとるようにしてください。

本製品使用上の重要な事項

- ・ 本取扱説明書は、必要な時にいつでも参照できるように、本製品の取扱説明書ホルダーに常に保管しておいてください。
- ・ 製品の修理、交換部品または情報については、販売後のサポートサービスにお問い合わせください。関連情報は本取扱説明書の裏表紙に記載されています。
- ・ ご不明な点がある場合は、お買い求めいただいた販売店または本取扱説明書の裏表紙に記載の連絡先までお問い合わせください。
- ・ 本製品には、個別のシリアルナンバーが付与されています。
- ・ ご使用前に保証書欄をご確認の上、必要事項をご記入いただき、ご購入時のレシート・領収書等を貼り付けておいてください。

参照 P16 > 取扱説明書ホルダー

自動車の座席について

本製品は、お子さまを保護するため、自動車の座席に強く取り付けられる必要があります。これにより自動車の座席にへこみや痕、表皮に傷が付く場合があります。本製品を正しくご使用いただいた結果、自動車の座席にこれらの損傷が生じる可能性があることをあらかじめご了承ください。当社は、この損傷に関しての損害賠償の責を負わないものとさせていただきます。



警告

本製品が正しく固定できず、衝撃により本製品が滑るなどして重大な事故につながるおそれがありますので、自動車の座席の保護を目的に、本製品の下に座布団やクッションなどを敷かないでください。

緊急時の操作について

交通事故など、緊急時には、あわてず、本製品のバックルボタンを押し下げて、ハーネスを外し、速やかにお子さまを自動車外に脱出させてください。この際に、ハーネスや自動車のシートベルトにお子さまが絡まないように注意してください。

バックルボタンが機能しない場合は、本製品を固定している自動車のシートベルトを外して本体ごと自動車外に脱出させるか、または、市販のシートベルトカッターなどを使用してハーネスを切断し、お子さまを車外に脱出させてください。

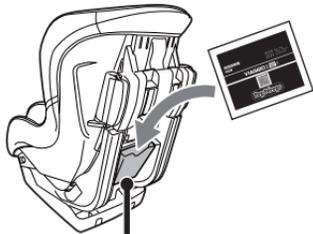


バックルボタン

取扱説明書ホルダー

本書は、必要な時にいつでも参照できるよう、本製品の取扱説明書ホルダーに常に保管しておいてください。

取扱説明書ホルダーは、本製品の背面にあります。



取扱説明書ホルダー

基本機能の説明

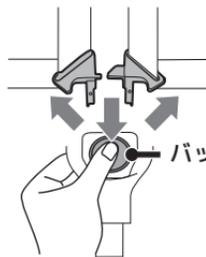
より、安全で快適にお使いいただくためには、お子さまの体形に応じて、各部を調整する必要があります。

実際にお使いになる前に、本製品の使いかたを一通り理解し、正しく調節し、取り付けて使用してください。

バックルの使いかた

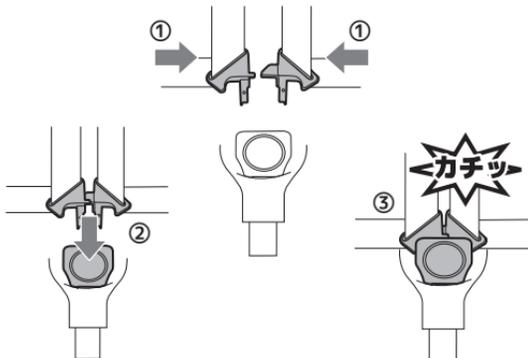
01

バックルを外すには、バックルボタンを押し下げます。



02

バックルを留めるには、①左右の差込タングを組んで、②受けバックルに③「カチッ」と音がするまで差し込んで留めます。



⚠危険

バックルが正しく留っていないと、本製品の使用中に急にバックルが外れ、お子さまが本製品から飛び出したり、落下したりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

正しく差込タングを受けバックルに差してもカチッと音がしない、バックルリリースボタンが動かないなど、バックルに異常を発見した場合はただちに本製品の使用を中止してください。

💡ポイント

受けバックルの内部にゴミなどが入らないよう、お子さまを乗せていないときも、バックルを留めておくようにしてください。

ハーネスの調節のしかた

⚠警告

ハーネスが適切に調整されていないと、お子さまが本製品から落下したり、過度の負担がかかったりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

長さの調節

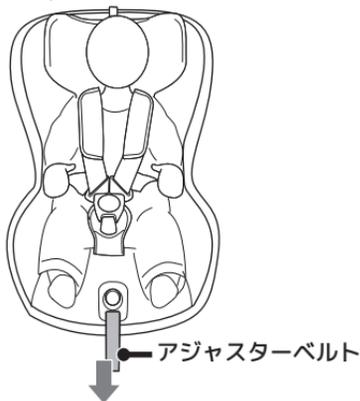
01

あらかじめ、バックルを留めておきます。

02

ハーネスを短くする（締め付ける）場合は、アジャスターベルトをゆっくりと引きます。強く締め付けすぎないように注意してください。

お子さまの胸部とハーネスの間に大人の方の指先が差し込める程度に締めつけるようにしてください。



⚠警告

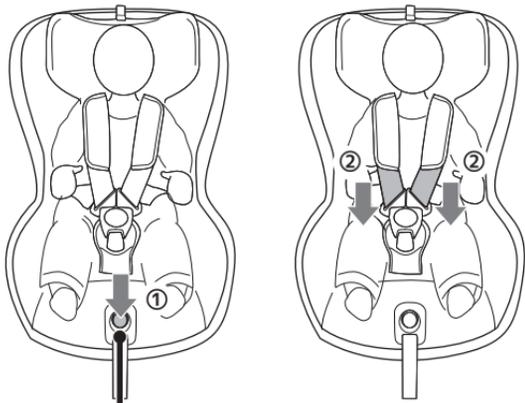
肩ベルトが強く締め、お子さまを過度に圧迫するおそれがあります。アジャスターベルトを、勢いよく、また必要以上に引っ張らないでください。

03

ハーネスを長くする(ゆるめる)場合、片方の手で①アジャスターボタンを押しながら、②もう片方の手で、左右の肩の部分のハーネス引っ張り、ハーネスを緩めます。

左右のハーネスが同じ長さになるように緩めてください。

▽ポイント 肩ベルトパッドを持つと、ハーネスをゆるめることはできません。



アジャスターボタン



警告

締めつけがゆるすぎると、使用中にお子さまが本製品から落下したり、衝撃を受けた際にお子さまを正しく保護することができません。必ず、お子さまの胸部とハーネスの間に大人の方の指先が差し込める程度に締めつけるようにしてください。

高さの調節

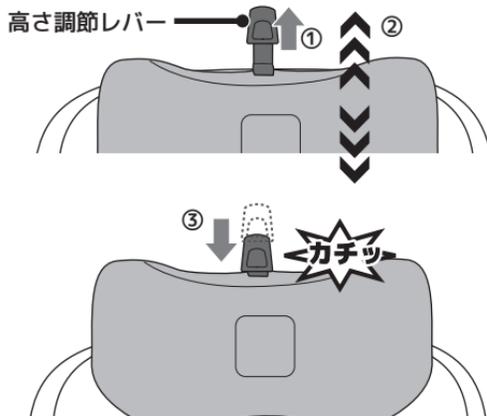
本製品では、ヘッドレストと連動してハーネスの高さ(肩の位置)を調節します。お子さまの体形、成長に合わせ、正しく調節してください。

参照 P19 > 02

01

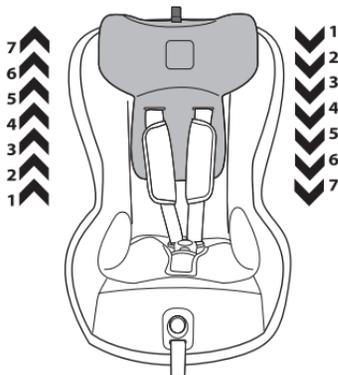
ヘッドレスト上端の①高さ調節レバーを引き上げて、②ヘッドレストの高さを調節します。③「カチッ」と音がしてヘッドレストが正しく固定されると、高さ調節レバーが元の位置に戻ります。

軽くヘッドレストを上下に動かして、確実に固定されていることを確認してください。



ポイント

ヘッドレストの高さ（ハーネスの肩の位置）は7段階で調節できます。



02

ハーネスは適切な高さで調節してください。

お子さまの肩の高さにハーネスがくるよう、下図を参照して調節してください。



危険

ハーネスの高さが低すぎたり、高すぎたりすると、本製品が安全に機能しません。



高すぎる



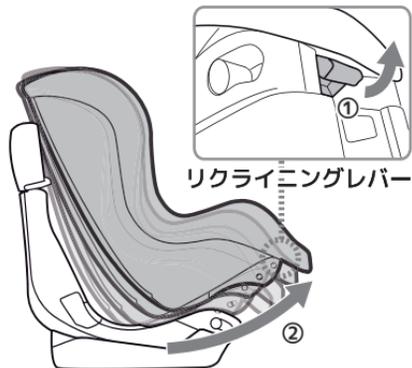
低すぎる

リクライニングの使いかた

01

本製品は、背もたれの角度を4段階で調節することができます。

①シート先端の裏側にあるリクライニングレバーを押し上げて、②シェルを前後に動かします。シェルは4段階のいずれかで固定されます。



ブースタークッションの使いかた

01

本製品には、月齢の低い間や身体の小さなお子さまにお使いいただくブースタークッションが取り付けられています。

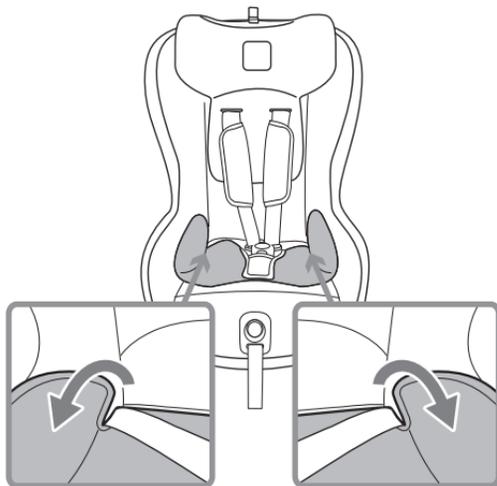
お子さまが成長して窮屈になったら、ブースタークッションは取り外してください。

取り外したブースタークッションは、お子さまの手の届かない場所で無くさないよう大切に保管してください。

02

ブースタークッションは、ハーネスの下側左右でブースタークッションの切り込み部を差し込んで取り付けられています。

バックルを外すと簡単に、取り付け、取り外しすることができます。



▽ポイント

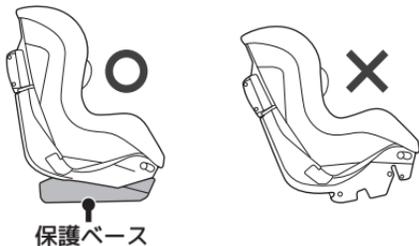
ブースタークッションは、切り込み部をハーネス（下側）に差し込んで使用します。別に固定されてはいませんので、お子さまを乗せる際には、ブースタークッションがずれないように注意してください。

3点式シートベルトによる取り付け

01

本製品の底部に保護ベースが取り付けられていることを確認します。ご購入時、保護ベースは取り付けられています。

参照 P26 > 02



⚠危険

保護ベースを取り外した状態で取り付けると、自動車の座席の表面に傷を付けるだけでなく、本製品が正しく固定されず大変に危険です。

02

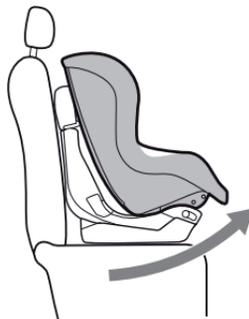
下図を参照して、本製品を自動車の座席に置きます。



03

本製品の後部にシートベルトを通しやすくするため、リクライニングレバーを操作して、最も寝かせた状態にします。

参照 P20 > 01



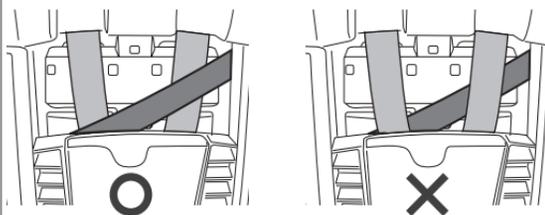
▽ポイント 取り付け後に、リクライニングを快適な位置に調節してください。

04

シエルのすき間部分にシートベルトを通して反対側に出します。
シートベルトはハーネスの上側を通してください。



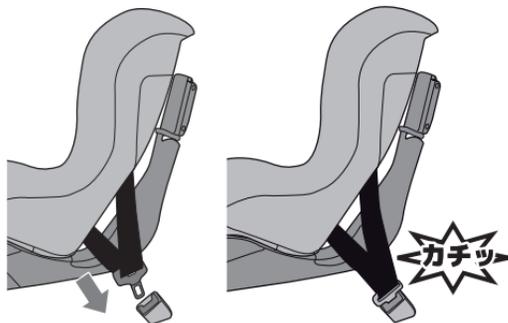
危険 シートベルトを本製品のハーネスの下側に通さないでください。



裏側から見た状態

05

シートベルトにねじれない事を確認して、ベルトタンクをベルトバックルに差し入れて、「カチッ」と音がするよう、しっかりと留めてください。

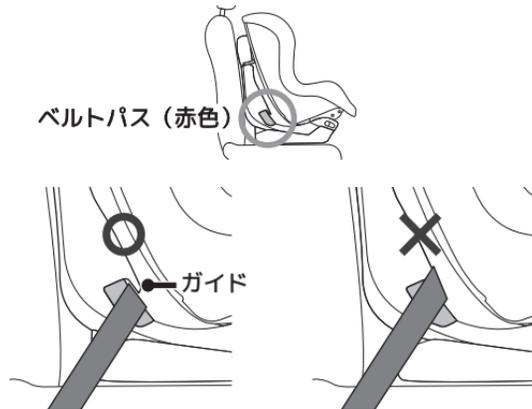


危険 シートベルトにねじれないようにしてください。ねじれがあると本製品が所定の安全性能を発揮できません。

ポイント 作業中に、シートベルトの固定機能が働いてしまうと、それ以上作業ができなくなります。作業途中で、固定機能が働いてしまった場合には、お車の取扱説明書を参照し、固定機能を解除して作業を続けてください。

06

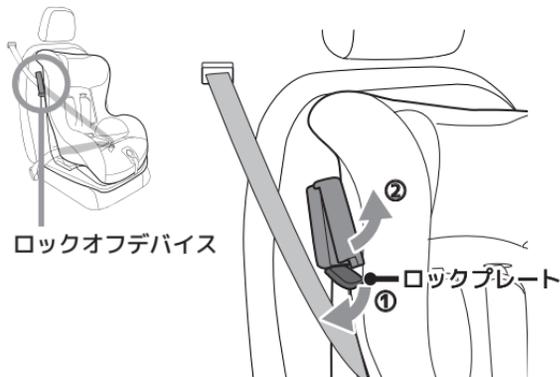
下図を参照して、自動車腰ベルトを本製品の左右の赤色のベルトパスに通します。左右ともベルトパスのガイドの下側に通してください。



07

自動車肩ベルトが通っている側のロックオフデバイスを開きます。

①ロックオフデバイス下部のロックプレートを下側に開き、②ロックオフデバイスを開きます。

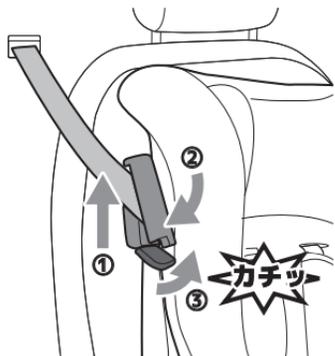


♀ポイント

ロックオフデバイスはシェルの左右に付いています。自動車肩ベルト側のロックオフデバイスを使用します。上図は、自動車の座席を正面から見て左側に自動車の肩ベルトの取り出し口がある場合を示しています。

08

①自動車肩ベルトをねじらないように注意してロックオフデバイスを通し、②ロックオフデバイスを閉じて、③「カチッ」と音がするようにしっかりとロックプレートを開じます。



自動車肩ベルトにねじれや折れがないようにしてください。ねじれていたり、折れていたりすると本製品が所定の安全性能を発揮できません。

⚠危険

ロックオフデバイスは確実に閉じてください。ロックオフデバイスが確実に閉じられていないと、事故や衝撃を受けた際に本製品が座席から外れたり、過剰に移動するなどして大変危険です。

09

自動車肩ベルトを上方向に引っ張り、きつく締めます。本製品の座面部分を、自動車の座面に強く押しつけながら、自動車肩ベルトを引くと、より強く締めることができます。



10

本製品の上部を手で前後左右に軽く動かしてみます。本製品の底面が3cm以上動く場合、取り付けが緩い状態ですので、もう一度取り付けなおしてください。

⚠警告

取り付けが緩い状態のまま使用すると、事故や衝撃を受けた際に、本製品が外れて自動車の座席から飛び出すおそれがあります。

11

本製品のリクライニングを、お子さまに合わせて適切に調節してください。

参照 P20 > 01

ISO-FIX ベースシートによる取り付け

本製品は自動車の座席の汎用 ISO-FIX 固定装置に取り付けて使用することができる当社製品の「Isofix Base 0+1」に対応しています。

「Isofix Base 0+1」の取扱説明書の指示に従い、自動車の座席に正しく取り付けられた上で、本製品を「Isofix Base 0+1」に取り付けて使用してください。

「Isofix Base 0+1」を使用すると、3点式シートベルトで固定する場合より安全性が向上します。

また、当社が別に指定する場合、その ISO-FIX ベースシートに取り付けて使用することができます。

「Isofix Base 0+1」を使用するには、自動車の座席に汎用 ISO-FIX 固定装置が装備されている必要があります。



危険

「Isofix Base 0+1」を正しく自動車の座席に取り付けてください。

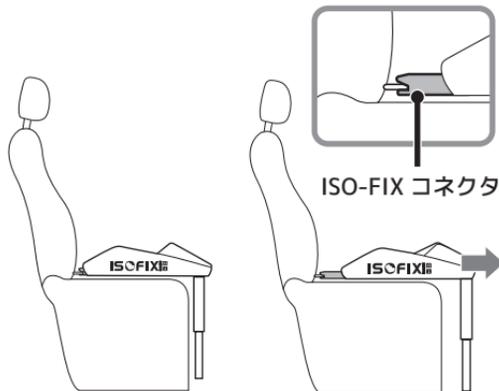
当社が指定する ISO-FIX ベースシート以外に本製品を取付けて使用してはいけません。



本製品のみでは、ISO-FIX による取り付けはできません。「Isofix Base 0+1」などの、本製品に対応した ISO-FIX ベースが必要です。

01

あらかじめ「Isofix Base 0+1」が自動車の座席に取り付けられている場合は、「Isofix Base 0+1」の ISO-FIX コネクタを伸ばして、最も前の位置まで移動させておきます。



「Isofix Base 0+1」が自動車の座席に取り付けられていない場合も同様に、「Isofix Base 0+1」の取扱説明書を参照し、正しく自動車の座席に取り付けた上で、ISO-FIX コネクタを伸ばして、最も前の位置まで移動させてください。

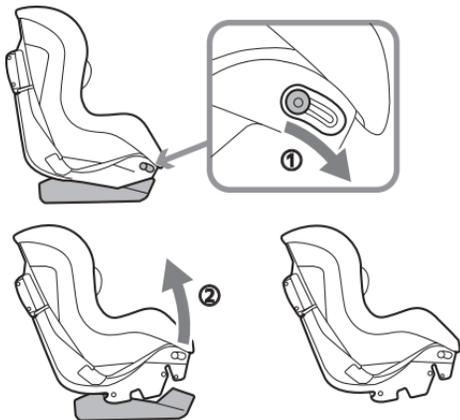


ISO-FIX コネクタを伸ばさないと「Isofix Base 0+1」の本
ポイント 体部分を前方に動かす)、自動車の座席の背もたれに干渉して
本製品の取り付けが困難になります。

02

①シェル前方左右の固定解除レバーを前に引いて、②シエルの前を持ち上げて保護ベースを取り外します。固定解除レバーは左右同時に操作してください。

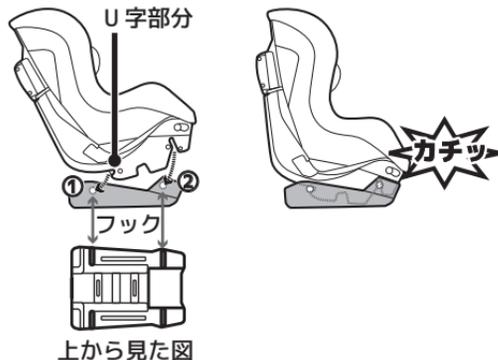
保護ベースは、3点式シートベルトによる取り付け時に必要となります。また、本製品の保管時は保護ベースを取り付けておいてください。取り外した保護ベースは、お子さまの手の届かない安全な場所で大切に保管しておいてください。



⚠危険 3点式シートベルトで取り付ける場合は、保護ベースを必ず取り付けてください。

ポイント

保護ベースを取り付けるには、保護ベースの前後を確認して（下図参照）、①シエルの後部のU字部分を保護ベース後部の左右のフックにかけて、②シエルの前部のU字部分を保護ベース前部の左右のフックにかけます。③「カチッ」と音がして、保護ベースがシェルにしっかりと固定されている事を確認してください。



保護ベースの前後のU字部分すべて4カ所が、確実に保護ベースのフックに固定されていることを確認してください。1カ所でも外れていたり、しっかりと固定されていないカ所があると、事故や衝撃を受けた際に、本製品が安全に機能しないおそれがあります。

⚠危険

03

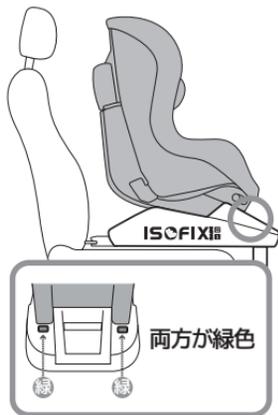
①シエルの後部のU字部分を、「Isofix Base 0+1」の後部のチャイルドシートマウントにかけて、②シエルの前部を「カチッ」と音が出て「Isofix Base 0+1」に固定されるまで押し込みます。

ポイント 操作は、基本的には前ページの「ポイント」に記載の、保護ベースの取り付けかたと同様です。保護ベースの「フック」が「Isofix Base 0+1」の「チャイルドシートマウント」に該当します。



04

「Isofix Base 0+1」の前側にある左右のロックインジケータが両方とも緑色になっていることを確認してください。
両方またはいずれか一方でも緑色になっていない場合は、本製品が正しく「Isofix Base 0+1」に固定されていません。

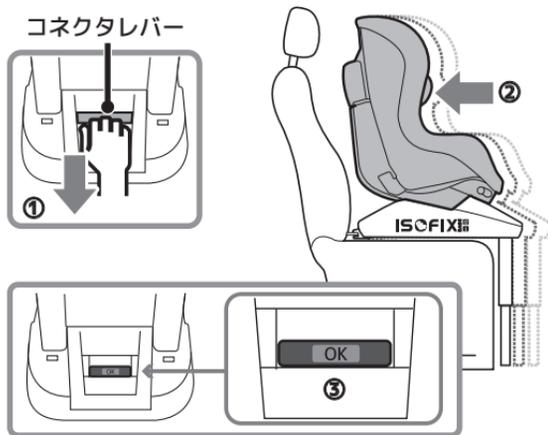


危険 使用中に本製品が外れて重大な事故につながるおそれがありますので、「Isofix Base 0+1」のロックインジケータが両方とも緑色になっていない場合は、そのまま使用しないでください。

05

「Isofix Base 0+1」の①コネクタレバーを手前に引いて、②本製品を背もたれ側に押し込みます。

可能な限り押し込みます。カチッと音がして本製品が固定されて、コネクタレバーに③ OK サインが出ていることを確認してください。NG サインが出ている場合は、OK サインが出るまで、本製品を前後に動かしてください。



危険 使用中に本製品が移動して重大な事故につながるおそれがありますので、「Isofix Base 0+1」のコネクタレバーに「OK」の表示が出ていることを確認してください。

06

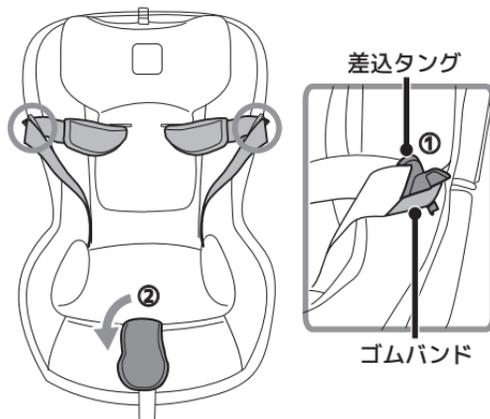
「Isofix Base 0+1」が確実に自動車の座席の左右の汎用 ISO-FIX 固定装置に確実に固定されていることを確認するため、「Isofix Base 0+1」を前後左右に動かそうとしても動かないことを確認してください。あわせて、本製品も同様に確実に固定されていることを確認してください。

お子さまの乗せかた

01

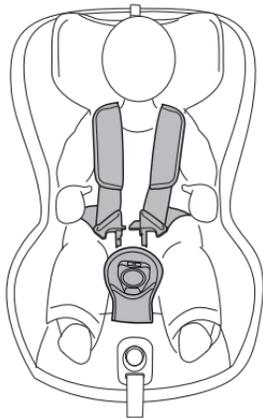
バックルを外し、①左右の差込タンクをそれぞれシエル左右のゴムバンド部分に掛け、②受けバックルを前方に倒しておきます。

参照 P16 > 01



02

下図を参照して、お子さまを本製品に座らせて、肩、腰にハーネスを通します。



03

ヘッドレストを調節して、ハーネスの高さ（肩の位置）を最適な位置にします。

参照 P19 > 02



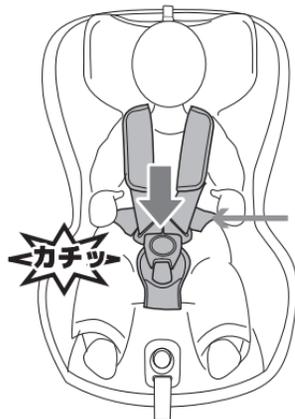
危険

ハーネスの高さは常に適切に調節してください。ハーネスの高さが適切でないと、重大な事故につながるおそれがあります。お子さまの成長にあわせて、こまめに高さを確認して調節するようにしてください。

04

ハーネスの腰の部分をお子さまの骨盤の上を通して、バックルを留めます。

参照 P17 > 02

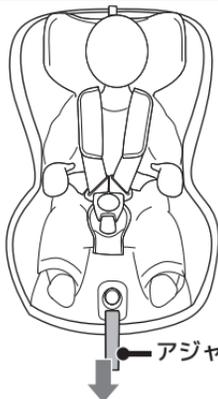


ハーネスの腰部分がお子さまの骨盤の上を通してします

05

ゆっくりと慎重にアジャスターベルトを引いて、ハーネスを締めます。強く締め付けすぎないように注意してください。

参照 P17 > 01 ~ P18 > 03



肩ベルトが強く締め、お子さまを過度に圧迫するおそれがあります。アジャスターベルトを、勢いよく、また必要以上に引っ張らないでください。

警告

締めつけがゆるすぎると、使用中にお子さまが本製品から落下したり、衝撃を受けた際にお子さまを正しく保護することができません。必ず、お子さまの胸部とハーネスの間に大人の方の指先が差し込める程度に締めつけるようにしてください。

06

ハーネスの高さが適切になってること、ハーネスの腰部分がお子さまの骨盤の上を通っていることを確認してください。

危険

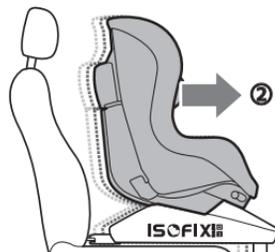
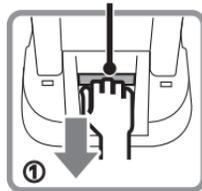
お子さまの安全のため、ハーネスの腰部分はお子さまの骨盤の上を通すようにしてください。骨盤の上を通っていないと事故や衝撃を受けた際に、お子さまの内臓や肢に過剰な負担がかかるおそれがあります。

ISO-FIX ベースシートからの取り外しかた

01

「Isofix Base 0+1」の①コネクタレバーを手前に引いて、②本製品を座席の前側に引き出します。

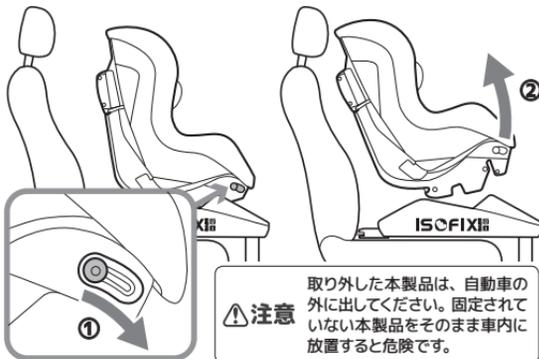
コネクタレバー



ポイント サポートレッグを短くしておく作業がしやすくなります。

02

①シェル前方左右の固定解除レバーを前に引いて、②シェルの前を持ち上げて取り外します。固定解除レバーは左右同時に操作してください。



注意

取り外した本製品は、自動車の外に出してください。固定されていない本製品をそのまま車内に放置すると危険です。

お手入れのしかた

保護ベースを取り付けた状態でも作業は可能ですが、取り外しの方が作業がしやすくなります。この場合、床面に傷をつけるおそれがありますので注意して作業してください。

カバー類の取り外し

01

ブースタークッションが取り付けられている場合は、外しておきます。バックルを外しておきます。必要に応じて保護ベースを取り外します。

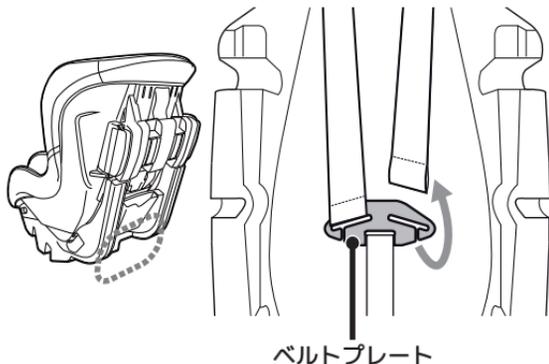
参照 P20 > 01 ~ 02

参照 P16 > 01

参照 P26 > 02

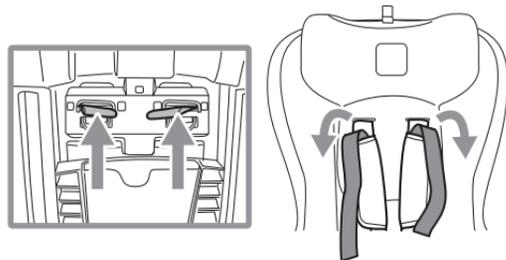
02

シェルの後ろ側、下部のベルトプレートから左右のハーネスを取り外します。



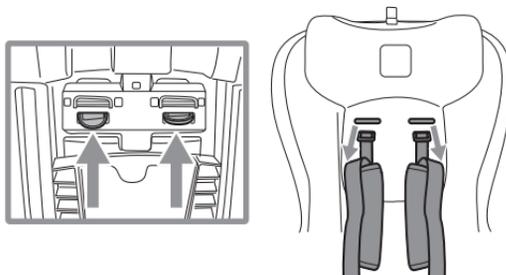
03

左右のハーネスを、前方に抜きだします。



04

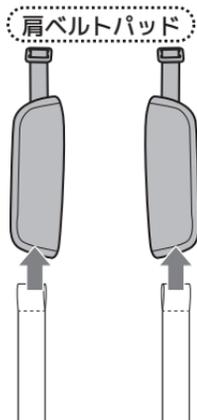
肩ベルトパッドのベルトの後端についているバックルを水平にして、前方に抜き取ります。左右とも同じようにしてください。



危険 肩ベルトパッドを取り付ける場合、左右を間違わないように注意してください。生地が滑り止めになっている側をお子さまの身体側にして、縫い目のない側をお子さまの首側にしてください。

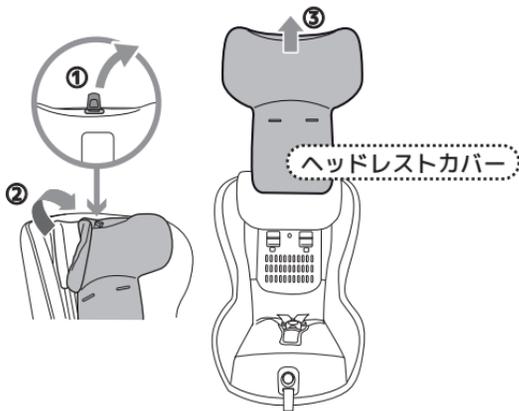
05

ハーネスから肩ベルトパッドを抜き取ります。



06

ヘッドレストカバーは、ヘッドレストに被せられています。①ヘッドレスト上端部の高さ調節レバーをヘッドレストカバーから抜き、②ヘッドレストの衝撃吸収材（ポリスチレン）を傷つけないように注意して、ヘッドレスト裏側から慎重に外していきます。③ヘッドレストカバーを上方向に取り外します。

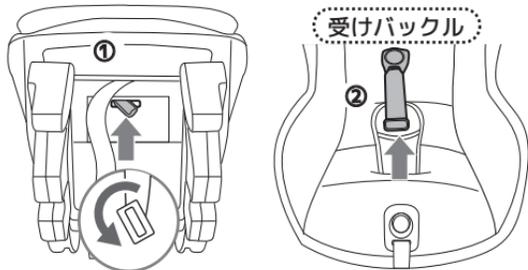


危険

ヘッドレストの衝撃吸収材（ポリスチレン）は絶対に取り外さないでください。

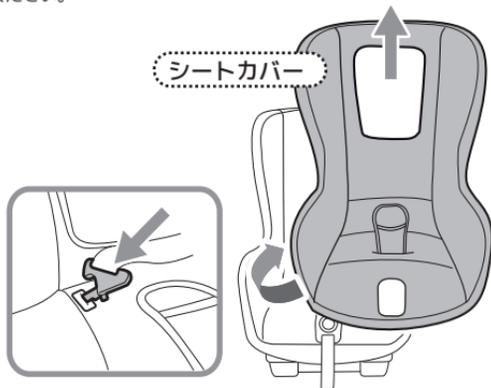
07

シェル底部裏側の、①受けバックルのベルトの金属製のバックルを回転させて通し穴に押し込み、②受けバックルを表側に抜き取ります。



08

差し込みバックルを、ハーネスの取り出し穴から抜き、シートカバーをシェルから取り外します。ヘッドレストの衝撃吸収材を傷つけないよう注意してください。



警告

取り外したカバー類は無くさないようにしてください。カバー類の一つでも取り付けずに本製品を使用することができません。取り外した際は、お子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。

カバー類のお手入れ

市販のブラシを使い、汚れを落としてください。

受けバックルは、洗濯できません。

危険

受けバックルのお手入れは、ブラシで汚れを取るかまたは水につけきつ絞った柔らかい布で汚れをふき取るようにしてください。受けバックルに水を漬けたりしないでください。

受けバックルに絶対に注油しないでください。また、お手入れにあたり洗剤や潤滑剤を使用しないでください。バックルが正しく機能しなくなるおそれがあります。

受けバックル以外の取り外したカバー類は、以下の注意を守り、それぞれのカバー類に縫い付けられているラベルの記載に従い正しく洗濯してください。

注意

- ・塩素系漂白剤は使用しないでください。
- ・アイロンは使用しないでください。
- ・ドライクリーニングをしないでください。
- ・シンナーやベンジンなどの溶剤を使用しないでください。
- ・タンブラー乾燥をかけないでください。
- ・他のものと一緒に洗濯しないでください。

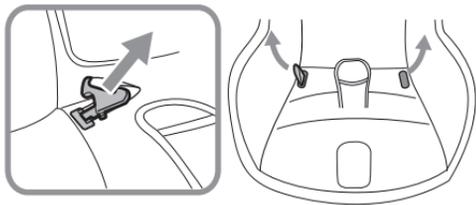
ポイント

洗濯によって、カバー類に多少の縮みや退色などが発生する場合があります。あらかじめご了承ください。

カバー類の取り付け

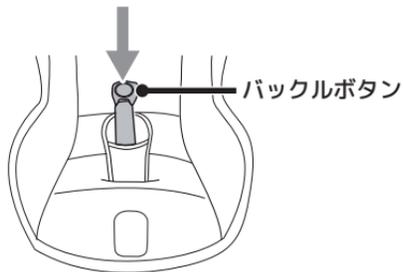
01

シートカバーの裏側から座面部分左右の取り出し口に、差込みタンクを通します。左右を確認して、ハーネスをねじらないように注意してください。



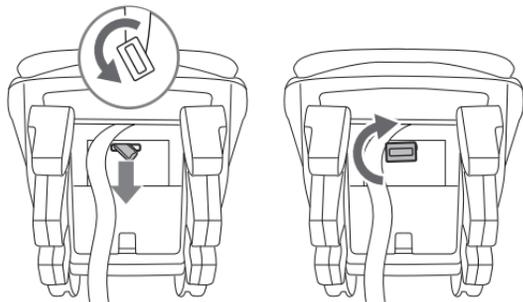
02

シートカバーの股ベルトパッド部分に、受けバックルを差し入れます。受けバックルには前後があります。前後を間違わないように注意してください。バックルボタンがある側が、正面から見て前側になります。



04

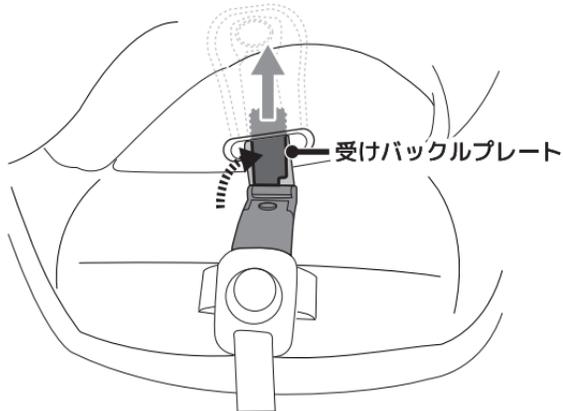
受けバックルのベルトの金属製のバックルを回転させて、シエルの通し穴に押し込み、裏側に出します。金属製のバックルを水平にして通し穴から抜けないようにします。



危険 受けバックルのベルトにねじれがないように注意してください。

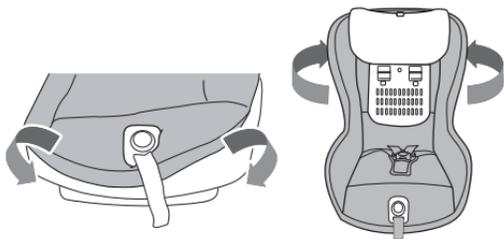
05

シェルの受けバックルプレートを起こし、シートカバーの股ベルトパッド部分に差し入れます。受けバックルプレートは、パネで前方に倒れていしますので、プレート部を起こしながら差し入れるようにしてください。



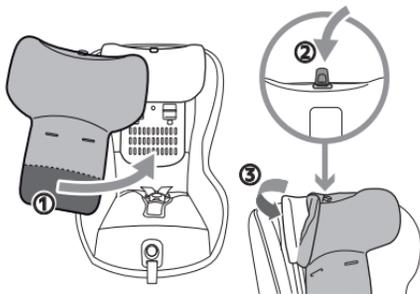
06

シートカバーをシェルに足元の方から被せていきます。本製品の背もたれの形状に注意してください。ヘッドレストの衝撃吸収材を傷付けないよう注意して作業してください。



07

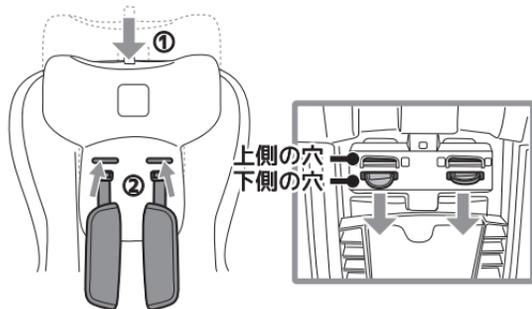
①ヘッドレストのカバーの裏側下のポケット状の部分をヘッドレストの下部のプレートに差し込み、②ヘッドレスト上部部の高さ調節レバーをヘッドレストカバーの取り出し穴に差し込み、③ヘッドレストの衝撃吸収材(ポリスチレン)を傷つけないように注意して、**慎重にヘッドレストに被せ**ます。



08

- ①ヘッドレストを最も低い位置に調節します。
- ②肩ベルトパッドの左右を確認して、ヘッドレストの表側から後端のベルトのバックルをヘッドレストの通し穴に通し、**シェル裏側の下側の通し穴**に通します（下図参照）。肩ベルトパッドのベルトをねじらないように注意してください。

参照 P18 > 01



⚠危険

肩ベルトパッドのベルトはねじらないように注意して、下側の穴を通してください。上側の穴を通すと使用中に肩ベルトパッドやハーネスが外れるおそれがあります。

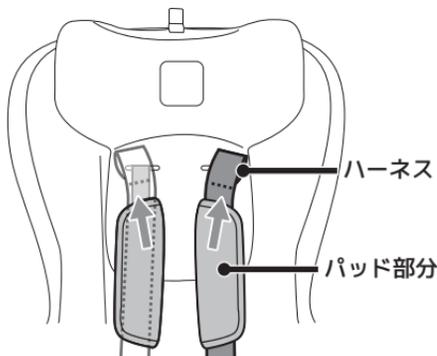
肩ベルトパッドを取り付ける場合、左右を間違わないように注意してください。生地が滑り止めになっている側をお子さまの身体側にして、縫い目のない側をお子さまの首側にしてください。

💡ポイント

作業しにくい場合は、ヘッドレストが最も低い位置に調節されていることを確認してください。ヘッドレストを最も低い位置に調節していても作業がしにくい場合には、リクライニングを調節してください。

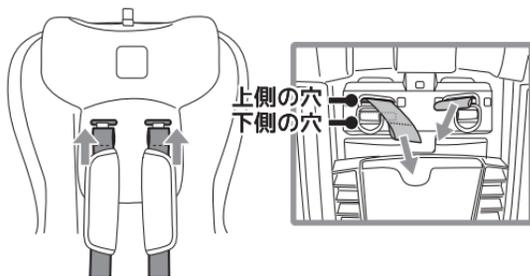
09

- ハーネスの左右を確認し、ねじらないよう注意して肩ベルトパッドのパッド部分の中を通して。



10

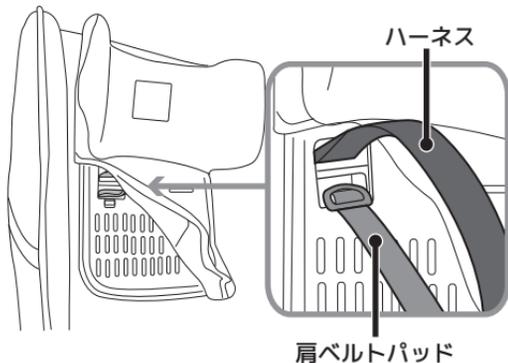
- ハーネスをヘッドレストの通し穴を通して（肩ベルトパッドのベルトを通した穴と同じ穴です）、**シェル裏側の上側の通し穴**に通します（下図参照）。ハーネスをねじらないように注意してください。





危険

シェル裏側の上下の穴を間違わないようにしてください。
上側の穴にはハーネスを通し、下側の穴には肩ベルトパッドのベルトを通します。



11

肩ベルトパッドのベルト、ハーネスにねじれがないことを確認して、バックルを留めます。

参照 P17 > 02

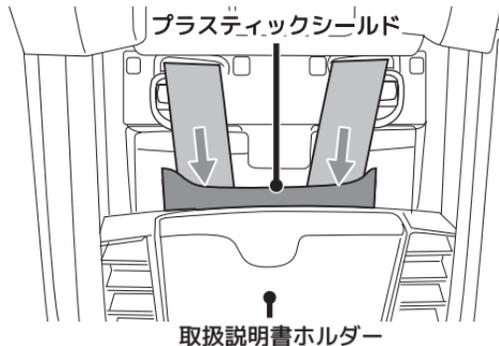


危険

ベルト、ハーネスにねじれがあると、事故や衝撃を受けた際に本製品が安全に機能しません。

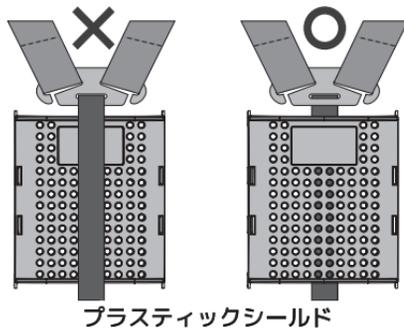
12

左右のハーネスを、シェルとプラスチックシールドの間に通します。
プラスチックシールドは、取扱説明書ホルダーの内側にあります。



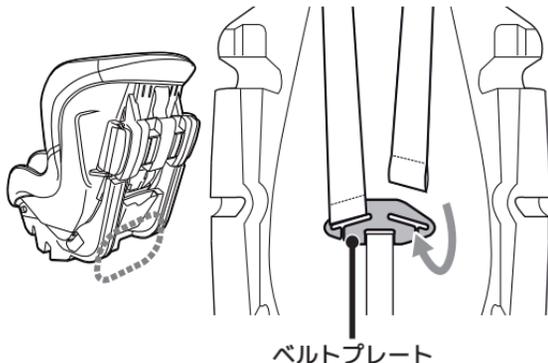
危険

ハーネスはシェル（本体）とプラスチックシールドの間を通してください。プラスチックシールドの上を通っていると、事故や衝撃を受けた際に本製品が安全に機能しません。



13

シェルの後ろ側、下部のベルトプレートに左右のハーネスをねじらないように注意して取り付けます。左右を間違えないようにしてください。



⚠ 危険

ハーネスを取り付ける場合、ハーネスをねじらないように注意してください。ねじれがあると、事故や衝撃を受けた際に本製品が安全に機能しません。

14

ハーネスにねじれがなく、シェルとプラスチックシールドの間を通っていることを、今一度確認してください。

15

必要に応じて、ブースタークッションを取り付けます。お子さまが小さい間は、取り付けないようにしてください。

メンテナンス

本製品を清潔で安全にご使用いただくために適宜メンテナンスをしてください。

- ・メンテナンス、お手入れは大人の方が行ってください。
- ・可動部および取り付け部、バックルは清潔に保つようにはしてください。

⚠ 危険

シリコンオイル、グリース、マシン油などの潤滑剤を絶対に使用しないでください。潤滑剤が付着すると、本製品が安全に機能しなくなるおそれがあります。

⚠ 注意

洗剤類、市販のウエットタオル（ウエットティッシュ）、赤ちゃんのお尻ふきは使用しないでください。含まれる成分によっては、樹脂が劣化、変質するおそれがあります。

シェル・樹脂部分のお手入れ

水につけ、良く絞った柔らかいタオルで汚れをふき取るようにしてお手入れしてください。洗剤類は使用しないでください。

金属部分のお手入れ

乾いた柔らかい布で汚れをふき取ってください。食べかすなど油分を含む汚れを落とす場合には、薄めた中性洗剤を溶かした水につけ、良く絞った柔らかいタオルで汚れをふき取るようにしてお手入れしてください。中性洗剤を使用した場合、お手入れ後は洗剤をよくふき取ってください。

可動部・接合部・受けバックルのお手入れ

可動部、接合部、受けバックルのお手入れには、市販のエアダスターを使用するか、掃除機を使用して吸い取るようにしてお手入れしてください。

保管のしかた

本製品を長期間ご使用にならない場合、本製品を自動車の座席から取り外してバックルを留め、保管してください。保管時には、布のカバーをするなどして、ほこりや汚れが付着しないようにして、直射日光の当たらない、寒暖差の少ない、湿気の少ない室内で保管してください。

廃棄に関して

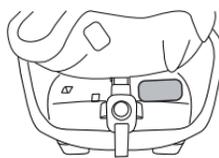
本製品を廃棄する際には、お住まいの自治体の指示に従い、正しく廃棄するようにしてください。

また、再利用による事故を防ぐため「廃棄品」と明示して、再利用を不可能な状態にして廃棄するようお願いいたします。

シリアルナンバー

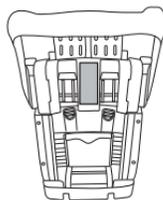
本製品には、シリアルナンバーが採番されています。保証サービスなどにおいて必要になることがありますので、以下を参照して必要に応じてご確認ください。

○シェル前端



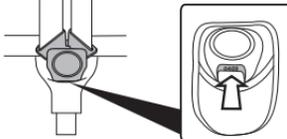
シートカバーをめくって確認します。
製品名、製造年月日、シリアルナンバーが記載されています。

○シェル背面



シェルの背面に、本製品の基準認証のラベルが貼り付けてあります。

○受けバックル

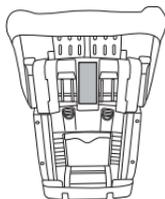


バックルの製造日。
お問い合わせの際に必要なになります。

💡ポイント

これらのラベル、シールは、本製品の適合する安全基準に規定されているものです。決して剥がしたり、汚したりしないでください。

認証ラベルについて（参考）



シェル背面のオレンジ色のラベルには、本製品の適合する基準の認証に関する情報が表記されています。

本製品は、2通りの方法で自動車の座席への取り付けが承認されているため、2重の表記がされています。

ISOFIX アタッチメントシステムによる取り付けが可能（SEMI-UNIVERSAL クラス A とは、車両と本製品の互換性を示します）。

スタティックまたはイナーシャリールの3点式シートベルトを使用して取り付け可能（UNIVERSAL という用語は、このタイプのシートベルトを装着した車両と本製品の互換性を示します）。

ラベル上部には、本製品の製造会社名および本製品の名称が表記されています。

丸で囲まれた E は欧州の承認マークを示し、数字は認証を発行した国を示しています（1：ドイツ、2：フランス、3：イタリア、4：オランダ、11：英国、24：アイルランド）。※いずれの国の認証でも日本での使用が認められています。

認証番号：04 で始まる場合、これは規則 R44 の第 4 修正案（現行の修正案）を示します。参照基準：UN / ECE R44 / 04

シリアルナンバー：本製品には、個別の番号が採番されています。

VIAGGIO 1 **DUO**
FIX **K**

Peg-Pérego

KATOJI®

201806